

10/17 月



満月の下、ウィーンの香りに酔う



今年もウィーンからクトロヴァツ兄弟がやってきました。10月17日(月) 近江高島駅に降り立ったふたりは、高島小・中学校の子どもたちの目の前で連弾を披露。一般公演では、485人の観衆がガリバーホールの座席を埋め、2台のピアノが奏でる華麗なハーモニーに酔いしれました。

18日(火)には、市内中学生向けの鑑賞会を開催。参加した中学生は、二人の指の動きの速さとコンビネーションの絶妙さ、そして表現力の豊かさに驚いていました。夕方には、新旭町国際交流協会が主催する交歓会が催され、66人のファンが兄弟との会話を楽しみ、三大寺佐織さんの琴と近江節花さんの日本舞踊が演じられて、日欧の文化交流が図られました。市民と世界最高峰のピアニストが一体となり、高島市の文化の高揚を感じる2日間でした。

10/22 土



あきない体験「にこにこ屋」

秋晴れの里山、マキノピクランド会場で行われたカントリーフェスタに出店されていた「にこにこ屋」を知ってますか。これは「地域の子供達に商い体験をしてみよう」とマキノ町商工会が企画され、カントリーバザールの中で行われたものです。参加した子ども達は8月から事前学習を行い、10月22日に、体験報告会を行いました。



みんなが頑張って売り上げた約3万7千円は、市の社会福祉協議会に寄付されました。みんなニコニコ「にこにこ屋」!



10/13 木

お料理するのは楽しいね

この日、藤波幼稚園の年長児が親子一緒に旬の食材や、地元産のお米や卵を使って、お弁当をつくりました。また、健康推進員さんから上手な作り方や栄養のことを教えてもらい、親子で楽しい時間を過ごしました。

参加者からは「(家でも)親子で料理づくり、楽しみます」「いつも食べられないものも頑張って食べてくれました」などの感想が。子どもたちのエプロン姿は頼もしく、自分で作ったお弁当を「おいしい」と言っていて食べていました。これからも「食べること」を大切に、みんなで「食」を考えるお弁当づくりは続きます。



10/19 水

シルバーパワーでピッカピカ!

滋賀県シルバー人材センター連合会では、毎年10月の第3水曜日を「シルバー環境美化の日」とし、県下一斉にボランティア活動を実施されています。

高島市でも4月に統合された「社団法人高島市シルバー人材センター」が、活動を通じ地域の環境美化を図るため、10月19日(水)、マキノ、今津、朽木、安曇川、高島、新旭の各ブロックで、会員216名が参加し、湖岸や公園、駅周辺などの草刈・清掃活動を実施し、



約2時間で缶類50袋、ビン類22袋、可燃物191袋が収集されました。会員のみなさん、お疲れ様でした。

地域文化の集大成! 10/23 日 ~ 11/7 月

各地域では地区の文化祭や旧町村域での文化祭が順次開催。芸術の秋にふさわしい展示作品、日頃の練習の成果の発表が行われました。



普段の練習の集大成。いろいろなジャンルの発表がありました。

マキノ



力作、出揃いました!



勇壮な近江葦海太鼓を披露で開幕!

今津



ひょうたん見事な瓢箪がずらり!



美声が会場に響き渡りました。

安曇川



作品展示会場には連日、大勢のお客さんが訪れました。



『マツケンサンバ』元気いっぱい踊りました!

高島



書道と陶芸より・・・力作揃い。



プロ顔負けの迫力。朽木の有志ジャズグループ「一二三」の演奏。

朽木



「くつきう~まんず」のパンでつくった籠です。香ばしくってとってもいい匂い!



どう? 私たちじゃうぜでしょ!

新旭



体育館いっぱいの作品。想いもいっぱい詰まっています。

まちネットワーク写真館

あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニュースは皆さんから大募集!! あなたのとびつきを紹介して下さい。毎月10日〆切。秘書広報課までご連絡下さい。

ボランティアはじめての一步 10/22 土



秋雨の寒い日となったこの日、マキノ高原体育館等を会場に「ボランティア・NPOファーストステップセミナー」が開催され、約70人が参加されました。

ボランティア活動への「きっかけづくり」の場として滋賀県が主催し県内4箇所で開催されたこのセミナー、湖西地域ではマキノまちづくりネットワークセンターが委託を受けて実施しました。セミナーでは三重県名張市「エコリゾート赤目の森」の伊井野雄二氏やマキノ自然観察倶楽部の谷口良一氏の講演、地元地域のNPO団体の活動や施設の見学などが行われました。参加者は、お昼に竹の先に付けたパンをみんなで一緒に焼いて食べたり、夜は里山汁などの「地元料理」を食べながら交流を深めました。

